



平成27年9月30日

各位

上場会社名 株式会社 京写
 代表者 代表取締役社長 児嶋 一登
 (コード番号 6837)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 平岡 俊也
 (TEL 075-631-3193)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	500	480	370	25.81
今回修正予想(B)	9,300	300	310	240	16.74
増減額(B-A)	△200	△200	△170	△130	
増減率(%)	△2.1	△40.0	△35.4	△35.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	8,606	486	481	360	25.17

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	1,200	1,170	900	62.79
今回修正予想(B)	19,000	700	700	580	40.47
増減額(B-A)	△1,000	△500	△470	△320	
増減率(%)	△5.0	△41.7	△40.2	△35.6	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	17,677	916	934	685	47.82

修正の理由

当社を取り巻く市場環境は、欧州の財政問題の顕在化や上海の株式相場の急落及び中国人民元切り下げショックを発端として世界的な金融市場の動揺が急激に实体经济へ波及してきました。

当第2四半期連結累計期間のプリント配線板業界の状況は、当初は先行き不透明な部分はあるものの好調な米国経済の成長や日本経済の景気回復により成長が続くものと予想しておりましたが、中国の景気減速を主因として急激に市場環境が悪化しました。

このような環境下、国内外ともに両面プリント配線板は自動車関連を中心に堅調に推移しましたが、主に中国实体经济の減速懸念が家電製品全般の販売不振をまねき、主力である片面プリント配線板の受注減、円安による輸入販売品のコスト増等により、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回予想を下回る見込みとなりました。

また、通期の業績予想につきましては、更なる拡販とコスト削減に努めるものの、今後も中国市場の景気減速に伴い、主要顧客の中国国内や欧州向け事務機、家電等の生産調整及び新規顧客立ち上げ延期等、片面プリント配線板の売上低迷が予想されることから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について修正しております。

なお、配当予想については修正いたしません。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想とは異なる場合があります。

以上